

## 2020 年度 医療放射線技術研究会

### ～ 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）と医療放射線技術 ～

2019 年 12 月に中国湖北省武漢市を中心に発生した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、瞬く間に全世界に広がり、甚大な被害を齎しています。人類が初めて経験する未知のウイルスであるが故に、治療法はもちろんのこと、診断法でさえも困難に直面しています。そうした中、医療先進国であるわが国では、X 線 CT だけでなく、核医学・分子イメージング技術の代表的な検査である陽電子放射断層撮影（PET）など、放射線を用いた医療機器を多く保有していることもあり、独自の切り口でこの難局を乗り越えようと様々な研究が進んでいます。そこで、本シンポジウムでは、感染症の専門医のほかに、医療現場の最前線で活躍する診療放射線技師や AI による X 線画像診断技術の研究者、核医学専門医をお招きし、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）と医療放射線技術に関する現状と今後の展開についてご講演を頂きます。

医療放射線技術研究会は放射線物理の医療応用について情報交換することを目的としています。臨床現場に携わる医師・診療放射線技師・医学物理士から計測技術の医療応用を目指している研究者まで広くご参加をお待ちしています。また、本研究会は東京都立大学「多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン\*および、東京都立大学大学院人間健康科学研究科放射線科学域医学物理士コースとの共催企画であり、本シンポジウムが専門医療人の人材育成の一助となることも期待しております。

開催日：2021 年 1 月 9 日（土）13:00 - 17:45

場所：Zoom によるオンライン開催

参加費：無料

定員：200 名程度

申込：必要（締切：2020 年 12 月 31 日（木））

以下のフォームにご記入ください。完了後、確認メールがフォームに記入したメールアドレスに届きますので、届かない方は伊良皆 [iramina@kuhp.kyoto-u.ac.jp](mailto:iramina@kuhp.kyoto-u.ac.jp) までご連絡ください。）

申込フォーム：<https://forms.gle/QbrSmtDLLA4wTKV76>

共催：応用物理学会放射線分科会医療放射線技術研究会

多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン（東京都立大学大学院人間健康科学研究科量子イメージング技術

者養成コース)

東京都立大学大学院人間健康科学研究科放射線科学域医学物理士コース

備考 : 医学物理士認定機構の業績評価点の対象 (コード F2 単位数 3) として出席証明書を発行予定

世話人 : 山谷泰賀 (QST 放医研)、村石浩 (北里大)、牧永綾乃 (帝京大)、伊良皆拓 (京都大附属病院)、山口充孝 (QST 高崎研)、眞正浄光 (東京都立大学)

\*多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材 (がんプロフェッショナル)」養成プログラム  
連携大学 : 東京都立大学、東京大学、横浜市立大学、東邦大学、自治医科大学、北里大学

プログラム

- 13:00-13:25 受付  
司会 眞正 浄光 (東京都立大学)
- 13:25-13:30 開会の辞  
福士 政広 (東京都立大学)
- 13:30-14:35 「医療技術者が知るべき新型コロナウイルス感染症の知識」  
(講演 55 分 質疑 10 分)  
講師 : 町田 征己 先生 (東京医科大学)
- 14:35 - 15:20 「新型コロナウイルス感染症と CT 検査の果たす役割」  
(講演 40 分 質疑 5 分)  
講師 : 木暮 陽介 先生 (順天堂大学医学部附属順天堂医院)
- 15:20 - 15:30 休憩 (10 分)  
司会 山谷 泰賀 (量研機構 放医研)
- 15:30-16:35 「新型コロナウイルス感染症と AI 画像診断支援技術」  
(講演 55 分 質疑 10 分)  
講師 : 藤田 広志 先生 (岐阜大学)
- 16:35 - 17:40 「COVID-19 と核医学」  
(講演 55 分 質疑 10 分)  
講師 : 南本 亮吾 先生 (国立国際医療研究センター)
- 17:40-17:45 閉会の辞  
前畑 京介 (帝京大学)